

## 課題6 長編小説の粗筋（あらすじ）をまとめる

### —もう1つの物語を作る—

次のア～オの小説の中から1つを選んで読み、下記の手順にしたがって、粗筋をまとめてみましょう。

- ア 有島武郎『或る女』
- イ 大江健三郎『懐かしい年への手紙』
- ウ 遠藤周作『深い河』
- エ 志賀直哉『暗夜行路』
- オ 三島由紀夫『金閣寺』

粗筋とは小説全体の要約です。冒頭から結末までをまとめてください。また、粗筋は、あなたがその作品をどのように読んだかを形にした表現です。自分の目で読み、自分の頭で考え、自分の言葉でまとめてみましょう。

- (1) まず、100字程度で書いてみてください。
- (2) 次に、250字程度に増やして書き改めてみましょう。
- (3) 最後に、(1)で書いた粗筋と(2)で書いた粗筋をくらべて、どこが違っているか、(1)になくて(2)に加わったのはどのような内容か、考えてみてください。